

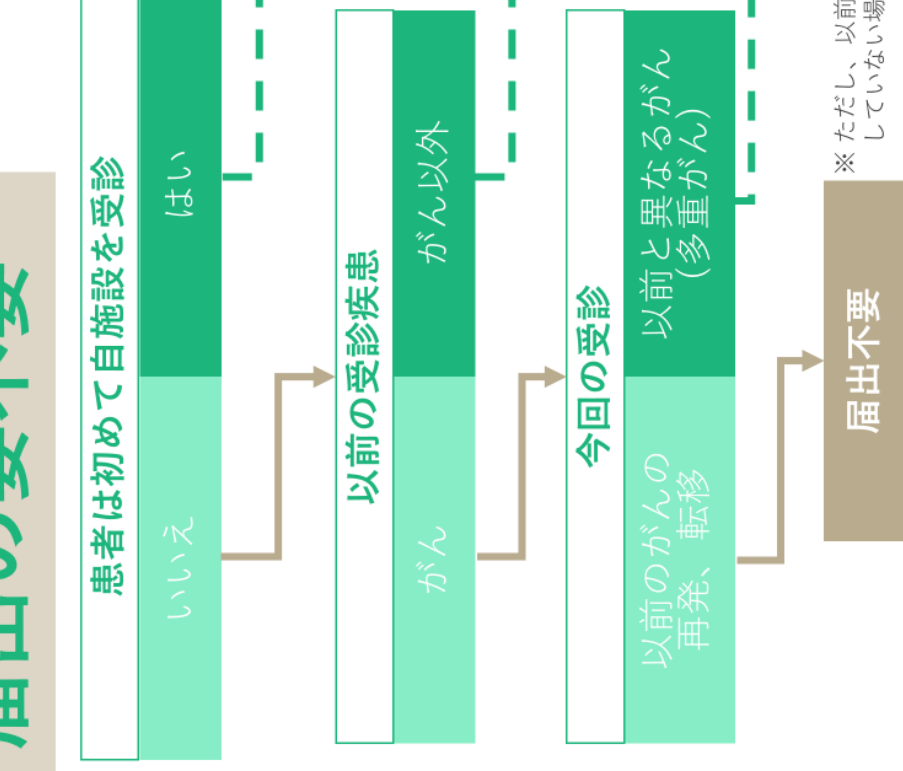


全国がん登録 実務者研修会 2025

届出 1 問 1 答
(資料編)

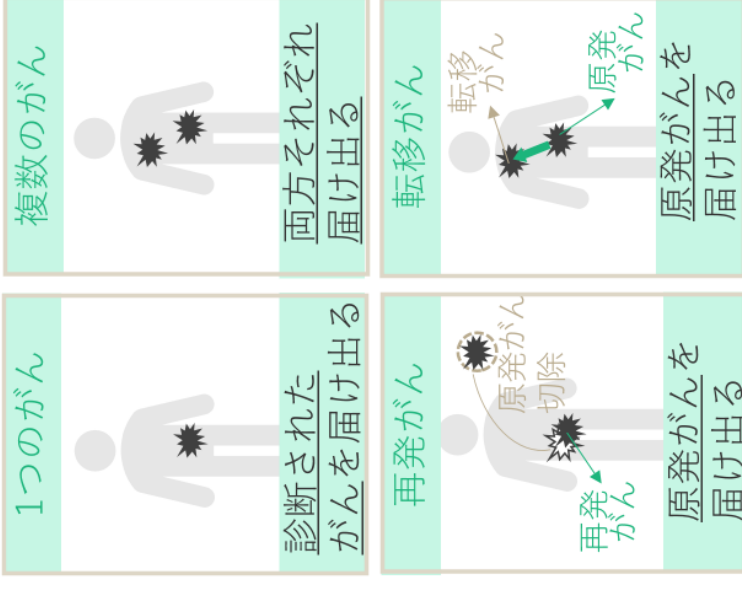
広島県がん登録室 2025年 6 月27日

届出の要不要



※ ただし、以前のがんについて届出をしていない場合は届出が必要です

届出必要



<2024全国がん登録実務者研修会資料「はじめましての全国がん登録」より>

資料2 「側性によって選択できるコード」

原発部位	選択可能なコード
側性のある臓器	1. 右、2. 左、9. 不明※
両側卵巣に発生した同じ組織形態の卵巣腫瘍 両側腎臓に発生した腎芽腫（ウィルムス腫瘍） 両側網膜に発生した網膜芽細胞腫	3. 両側※※
側性のない臓器	7. 側性なし

※ 側性のある臓器で原発部位の側性が不明な場合、
原発が正中にある場合「9.不明」を選択
※※ 両側のコードを選択できるのは、表内の3つのみ

資料3 「側性のある臓器一覧」

側性のある臓器

唾液腺（耳下腺・顎下腺・舌下腺）、扁桃（扁桃窩、扁桃口蓋弓など）
鼻腔・中耳、耳・外耳道の皮膚、副鼻腔の一部（上顎洞、前頭洞）
主気管支・肺、胸膜
眼瞼の皮膚、その他の顔面の皮膚、体幹の皮膚、
上肢の皮膚・末梢神経（肩甲部含む）、下肢の皮膚・末梢神経（股関節部含む）
上肢・肩甲骨の骨、下肢の骨、肋骨・鎖骨など、骨盤骨など
上肢・肩の軟部組織、下肢・股関節部の軟部組織
乳房、卵巣・卵管、精巣・副睾丸
腎・腎盂・尿管、眼球・涙腺、副腎・頸動脈小体

<全国がん登録 届出マニュアル2025 第2章：届出項目について P34参照>

資料4 「診断根拠が顕微鏡的(病理学的)診断でないときに用いてよい形態コード」

形態コード	組織診断名	形態コード	組織診断名
8000	新生物・腫瘍,NOS※	9350	頭蓋咽頭腫
8150	膵内分泌腫瘍	9380	グリオーマ
8151	インスリノーマ	9384/1	上皮下巨細胞性アストロサイトーマ
8152	腸グルカゴン腫瘍	9500	神経芽腫<神経芽細胞腫>
8153	ガストリノーマ	9510	網膜芽腫<網膜芽細胞腫>
8154	膵内分泌・外分泌細胞混合腫瘍	9530	髄膜腫,NOS
8160/3	胆管細胞癌※※	9531	髄膜皮性髄膜腫
8170	肝細胞癌	9532	繊維性髄膜腫
8270	嫌色素性腺腫/癌（下垂体腫瘍）	9533	砂粒腫性髄膜腫
8271	プロラクチノーマ（下垂体腫瘍）	9534	血管腫性髄膜腫
8272	下垂体腺腫/癌,NOS	9535	血管芽腫性髄膜腫
8280	好酸性腺腫/癌（下垂体腫瘍）	9537	移行型髄膜腫
8281	好酸性・好塩基性混合腺腫/癌（下垂体腫瘍）	9538	明細胞髄膜腫/乳頭状髄膜腫
8720	黒色腫（眼又は皮膚に原発の場合）	9539	異型髄膜腫
8800	肉腫,NOS	9590	リンパ腫
8960	腎芽腫	9732	多発性骨髄腫
9100	絨毛癌	9761	ワルデンストレームマクログロブリン血症
9140	カボジ肉腫	9800	白血病

※ NOS Not Other Specified 他に何らの説明や記載のないもの、詳細不明

※※ 日本独自ルール

<全国がん登録 届出マニュアル2025 第2章：届出の項目について P37参照>

資料5 「がんの診断根拠となる検査の、確からしさの度合い」

確 か ら し さ の 度 合 い	高	1 原発巣の組織診（病理組織診によるがんの診断）
		2 転移巣の組織診（病理組織診によるがんの診断）
		3 細胞診（病理組織診ではがんの診断なし）
		4 部位特異的腫瘍マーカー（によるがんの診断）
		5 臨床検査〈画像診断も含む〉（によるがんの診断）
		6 臨床診断<1～5を伴わないもの>（によるがんの診断）
	低	7 不明

資料6 「部位特異的腫瘍マーカー陽性とできるマーカー」

部位特異的腫瘍マーカー	肝細胞癌でのAFP高値
	絨毛癌でのHCG高値
	神経芽細胞腫でのVMA高値
	ワルデンストレームマクログロブリン血症での免疫グロブリン高値

<全国がん登録 届出マニュアル2025 第2章：届出項目について P40～41参照>

資料7 「がんの進展度（進展度・治療前/進展度・術後病理学的）」

		選択できるコード
進 展 度	・組織の基底膜下にごがん細胞が入り込んでいない状態※	400.上皮内癌
	・がんが発生元の器官に限定して存在する状態	410.限局
	・がんの発生元の器官と直結したリンパ路をもつリンパ節への転移が認められる状態	420.領域リンパ節転移
	・がんが発生元の器官と隣接する器官の境界を越えて進展した状態	430.隣接臓器浸潤
	・がん細胞が発生元の器官から離れて身体のほかの部位に移動し、新しい病巣において増殖を始めている状態※※	440.遠隔転移
	・局在コードがC42.0、C42.1の白血病、多発性骨髄腫である	777.該当せず
	・進展度を判断できる情報がない ・原発巣が不明（局在コードがC80.9）である ・剖検で発見された癌である※※※	499.不明

※ 大腸癌(結腸癌、直腸癌)の場合は基底膜を超えていても粘膜筋板より内側にとどまっているものを上皮内とする

※※ 卵巣がんの腹膜（播種）転移は、隣接臓器浸潤とする

※※※ 死体解剖の情報は、病理組織学的検索で得られた知見と同等に適用するため、進展度・術後病理学的に反映する

<全国がん登録 届出マニュアル2025 第2章：届出項目について P24～25、44、45参照>